

駒ヶ根市文化財

名称	高鳥谷神社社叢
種別	植物
指定	県・天然記念物（昭和 46・8・23）
所在地	東伊那 7705 外
所有者	高鳥谷神社
説明	<p>東伊那と伊那市富県との境、伊那山脈の一角におだやかで美しい山、高鳥谷(たかずや)山(1331m)がある。</p> <p>高鳥谷神社里宮はその西南に向かった中腹斜面(950m)に位置し、その境内の面積は 11,539 平方メートルで、社叢全域がよく育った針葉樹の老木で埋めつくされている。</p> <p>樹種は、樹齢 300 年を超えるものも含むアカマツが全体の約 3 割をしめ、他にヒノキ・サワラ・スギ・モミ等の古木で美林を形成している。</p> <p>特に参道に並び繁る 40 余本のアカマツは伸びがよく、その樹肌は赤褐色に輝き、老松の特性を発揮し美しい。県下でもこのように樹肌の美しい老木が揃っていることは珍しく、この社叢の特色といえる。</p> <p>また、林床には、アスナロの幼木が多数みられることも、伊那谷では特筆すべきものである。</p>



高鳥谷神社社叢